

すみれ共同作業所 ニュース

第90号
2022年10月10日

- 社会福祉法人
大阪福祉事業財団
すみれ共同作業所
所長 藤原 民人
〒五三六〇〇〇
大阪府城東区古市一丁目三三八
電話 〇六六九三四一四六〇七
- 事業内容**
- ◆生活介護事業
なかまの働く店
「フレンドワーク」「うるるカフェ」
 - ◆共同生活援助事業
グループホーム
「かえでの家」
「わくわくホーム」
「ほぐら」「いぶぎ」「もえぎ」
「すみれ青年の家」
 - ◆「第2すみれ青年の家」
 - ◆日中一時支援事業
 - ◆居宅介護・重度訪問介護事業
 - ◆移動支援事業
 - ◆指定特定相談支援事業

グループホーム「いぶぎ」 引っ越ししました

2022年3月末にグループホーム「いぶぎ」が鶴見区緑から同じ区内の諸口に引っ越ししました。予てより建物の老築化の問題から移転の検討をしており、この春引っ越しとなりました。新たなグループホームを見つけるまでには鶴見区だけでなく、旭区や都島区など利用者の暮らしがより豊かなものになるような場所、物件を探してきました。そして巡り合えたのが今回の物件でした。

いぶぎは、2012年に家族の方より生活の場を増やしてほしいとの要望を受け、作業所として4か所目のグループホームとしてスタートしました。引っ越しまでの10年間、世話人も利用者も変わっていきますが、みんなと共に楽しいことも苦しいこともたくさん思い出を作ってきました。そんな思いでが詰まったグループホームを去るのは名残惜しい気持ちでいっぱいでした。引っ越し当日は雨が降り、みんなの「いままでありがとう」とさみしさや感謝の気持ちの

涙が空から降ってきたように感じました。
今、新しい「いぶぎ」での生活は、半年ほど経過しましたが、皆さん快適に、楽しく生活を送っております。そしてこれまで以上に皆さんと思い出を作っていきたいと思えます。

(上仲)



季香

コロナ感染第7波が来るとともに、7月半ば頃に娘2人が同時期に感染してしまいました。ホテル療養は拒否され、とうとう我が家でも隔離生活が始まってしまいました。隔離生活の中で活躍したのが携帯電話でメール・ビデオ通話で様子や要求が分かり助かりました。一番困ったのが水分補給で、飲み物がすぐに温くなる、飲み干したなどで、何度も運ぶのがしんどくなり、クーラーボックスで対応しました。色んな飲料水を入れていたので娘達も「キャンプみたい」と高熱を出しているのに笑っていました。一緒に家に居るにもかかわらず会うこともなく、娘達は何不自由なく1週間過ごす事が出来ました。逆に母親の私が感染すると、即ホテル療養を勧められるのでしよう。

(園田)

初めてのボッチャ

5月26日、城東区地域自立

支援協議会主催による初めてのボッチャ練習大会に北浜さん、慎山さん、河井さんの3名で参加をしました。ボッチャは、自チームのカラーの球を2球投げ、白いボール(以下、ジャックボール)にいかに近づけるか、という競技です。実技の模範も見ながらルールを理解された様子で城東区内の各事業所、城東区各地域の地域福祉支援員の方たちとボッチャを通して交流をしました。

始めは緊張した面持ちでしたが時間が経つにつれ、ボッチャが楽しくなり、北浜さん、慎山さんは自分の赤玉を優しく丁寧に投げ、河井さんは自分の球を勢いよく投げてコートの外にはみ出してしまいう事があり、ジャックボールに近づける事の

難しさを感じました。

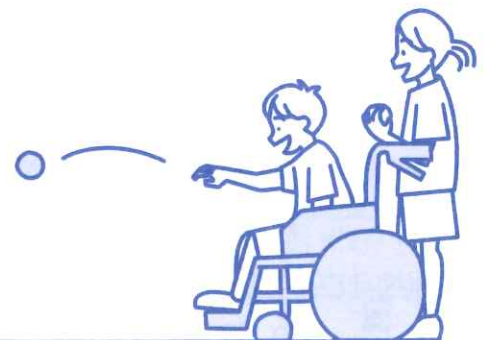
合計、3回戦(6エンド)に参戦をし、1分け2敗と勝利する事はできませんでしたが、ボッチャの魅力に触れ、各事業所の利用者の方や地域福祉支援員の方たちと楽しく触れ合える楽しい時間となりました。

川守田



(川守田)

みんなでボッチャを楽しみました!



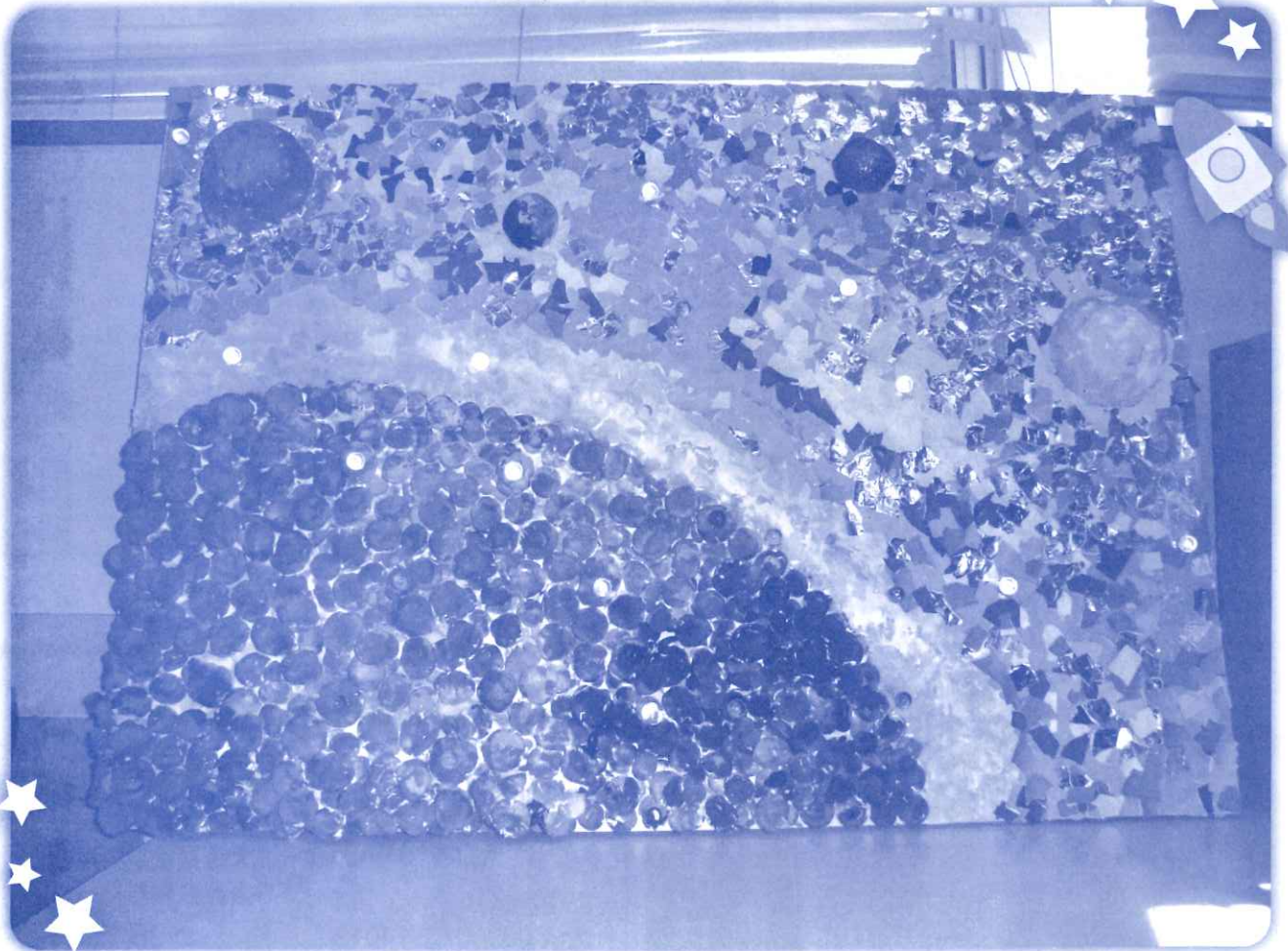
入賞に向けて みんなので協力!

6月に第3作業室で日本財団DIVERSITY IN THE ARTS公募展に出展する作品を作りました。まずは作品のテーマをみんなで決めました。海や空などといった意見がたくさん出ました。最後はみんな

で多数決をおこない、「宇宙」に決まりました。宇宙に決まっからは元となるイメージ図をいくつか見てから気に入ったものを選んでもらいました。イメージ図が決まると作成にかかりました。紙粘土を使って宇宙の星をイメージした球体を作りました。最初は1つ作るのになかなか時間がかかっていましたが、慣れてくると職人のようにきれいな球体を作っていました。人によっては大きな球体をボールで型取る工夫していました。球体をキャンバスに張り付けると色塗りを開

始。どこに何色を塗るかを一生懸命考えて、すてきな色使いになっていました。完成すると書類を送り、9月の結果待ちです。いい結果になるといいですが果たして…。

(中谷)



季節を感じる飾り付け

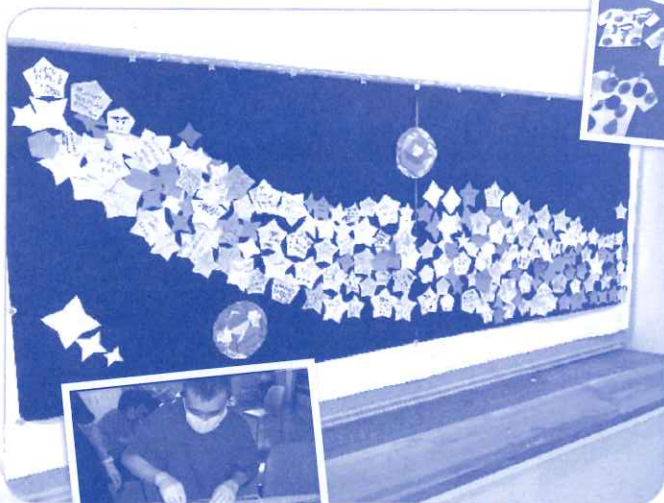
新型コロナウイルス感染症が流行して3年目になりますが、その間すみれ共同作業所でも様々な活動に制限がかかる事となつています。外出活動などは流行の状況を見ながら、十分な感染対策を取ったうえで実施しましたが、感染者数が増える



中止せざるを得ませんでした。

また、生け花や習字、フラダンスなど、外部から先生を招いて行ってきたクラブ活動も、感染予防の観点から長らく中止する事となっています。そのような中ではありますが、四季折々の行事を行う事で、少しでも季節の移ろいを感じる事が出来ればと、各作業室などで季節に合わせた創作活動を行っています。出来上がった作品で、作業所内のいろいろな場所を飾り付けたり、なかまの自治会が中心となつて七夕の飾り付けを行ったりと、季節を感じる事が出来る取り組みを行っています。

(中井)



● 大阪福祉事業財団後援会 ●

お申し込みは

年会費/個人 3,000円
団体 10,000円

郵便振込/
大阪 00900-3-14013

すみれ共同作業所 又は
大阪福祉事業財団
後援会事務局 まで
☎06-6931-2983

「福祉のひろば」の案内

ご購入を希望される方は、すみれ共同作業所までご連絡をお願いいたします。

五五〇円(税込)

